

人にやさしく！

校長 新居崎 杉彦

こんな時こそ「人にやさしく」！

厳しかった夏の暑さもようやく陰りが見え始め、朝夕が少し涼しくなってきました。

2学期がスタートして、はや1ヶ月が終わろうとしています。2週間の短縮授業が終わり、今各学級では、本格的に学習に取り組んでいるところです。今後も、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

さて、先頃、天理大学ラグビー部で新型コロナウイルス感染症が広がりましたが、先日部員全員が回復し、無事終息しました。この間、天理大学生のアルバイト停止や教育実習生の受け入れ拒否など、様々な偏見や非難、差別的な事象が起きました。現在のコロナ禍では、大人の世界でもこのような状況です。もし、子どもたちの世界にこのようなことが起これば、コロナ禍の中で見えないストレスが蓄積されている子どもたちは、更に気持ちに余裕がなくなり、友達を傷つけ合う「加害者」「被害者」となりうるかもしれません。全国的に感染症の広がりが終息に向かっていく今こそと思い、今月の朝礼では、「こんな時こそ人にやさしく」という話を子どもたちにしました。

朝礼の話の中で、新型コロナウイルス感染症は、「誰もがかかる病気であること」「2週間で登校できるようになること」を理解し、「もし、友達がかかることがあっても治って登校した時には優しい言葉をかけてほしいこと」「病気になるのが怖いという気持ちに負けて、友達にひどいことを言わないこと」を子どもたちにお願いしました。本校には、合い言葉「人にやさしく、自分にきびしく」がありますが、こんな今だからこそ実践してほしいと伝えました。

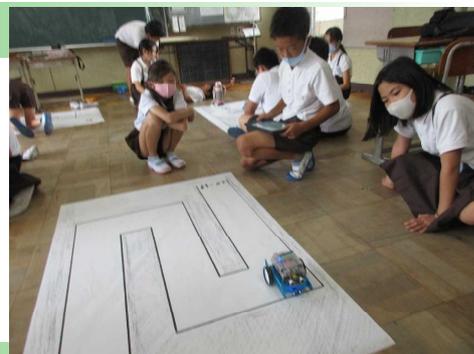


折り鶴プロジェクトの様子

実際に、本校でもみんなで手洗いやマスクを敢行して、学校全体で感染予防に努めています。それは、「感染症は、一人だけの努力では予防できない、お互いに支え合わないと乗り越えられない」ことを物語っています。「感染することが悪い」ではありません。ご家庭でも、「感染を恐れて、心が排他的にならないように」子どもたちにお話ししていただければと思います。そして、ワクチンができて、新型コロナウイルス感染症が人々の脅威でなくなった時に、お互いの言動が思いやりにあふれていたと思えるように願っています。

プログラミング教育

本校に、8月17日～31日の期間に、車型のプログラミングロボットがやってきました。2年生以上の各学年で、ipadで操作しながら車型のロボットを動かすというプログラミング学習をしました。プログラムを組むとその通りにロボットは動きますが、なかなか自分が考えているように動かなくて、何回もプログラムを組み直して挑戦しました。今後、プログラミングは、子どもたちの生活になくてはならないものになります。本校では、これから積極的にプログラミング教育を進めていく予定です。



みどりの少年団



昨年「丹波市小学校自然いっぱい緑化事業」で体育館前に「ヒドラツツジ」を植えていただきました。そして、今年は、環境委員会を中心に、ますます緑化運動や花いっぱい運動を推進するために、「丹波市小学校 みどりの少年団」を結成しました。このたび県に申請が認められ、緑色の大きな団旗をいただきました。

機会を見つけて、子どもたちにも団旗を披露して、ますます緑化運動や花いっぱい運動を子どもたちの手で広げていきたいと思います。

なかよし集会（反戦平和折り鶴プロジェクト）

9月1日火曜日、縦割り班で「なかよし集会（反戦・平和集会）」をおこないました。6年生全員が実行委員となり、放送室から「戦争・平和の話」「紙芝居・朗読『さだ子とおりづる』」の発表や朗読をしました。一人一人の平和への思いを込めた言葉が、全校児童に伝わった発表や朗読でした。また、「折り鶴プロジェクト」の担当児童がビデオで折り鶴の折り方を説明し、広島へ届ける折り鶴作りをおこないました。6年生たちが下級生たちにやさしく教えて、みんなたくさんの折り鶴を折ることができました。6年生全員が大活躍した「なかよし集会」でした！

